

所属	人文科学系	職名	講師	氏名	小菅智也	記載年月日 (和暦)	平成28年11月9日
<b>I 主な教育活動</b>							
<b>I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)</b>							
(平成27年度)東北大学全学教育非常勤講師(平成27年10月～平成28年3月)							
(平成27年度)東北学院大学経済学部非常勤講師(平成27年4月～平成28年3月)							
(平成27年度)尚綱学院大学総合人間科学部特別講師(平成27年4月～平成28年3月)							
(平成26年度)東北学院大学経済学部非常勤講師(平成26年4月～平成27年3月)							
(平成26年度)尚綱学院大学総合人間科学部特別講師(平成26年4月～平成27年3月)							
<b>I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)</b>							
<b>I-3 その他の該当事項(過去3年)</b>							
高等専門学校新任教員研修会(平成28年5月, 東京)							
<b>I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)</b>							
(平成28年度)寮務委員会							
<b>I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)</b>							
(平成28年度)英語スピーチコンテスト							
<b>II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上, 専攻科様式第5号形式とする)</b>							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
<b>II-1 (学位論文)</b>							
A Diachronic Syntax of Complex Predicate and Case Conversion in Japanese (博士論文)	単著	2016年3月	東北大学				
A Syntactic and Semantic Reanalysis of Japanese and Reciprocal Expressions in View of the Japanese Reciprocal V-V Compounds (修士論文)	単著	2013年3月	東北大学				
<b>II-2 (著書)</b>							
<b>II-3 (学術論文)</b>							
日本語の「V1+て+V2」形式の通時的発達に関する統語論的考察	単著	2016年11月	『コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論』pp.251-267				
A Syntactic Analysis of the Complementarity of Japanese Genitive Subjects and Politeness Markers	単著	2015年3月	FLC Working Papers in Linguistics 12, pp.1-25				
CP 領域のカートグラフィーに基づく主格・属格交替現象の統語論的分析	単著	2015年2月	JELS 32, pp.70-76.				
The Syntax of Japanese Reciprocal V-V Compounds: A View from Split Antecedents	単著	2014年6月	English Linguistics 31, pp.45-78				
Japanese Reciprocal Anaphor Otagai with Split Antecedents in Disguise and Multi-Dominant Syntactic Structure	単著	2014年2月	JELS 31, pp.319-324.				
<b>II-4 (研究紀要)</b>							
<b>II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと</b>							
Japanese Reciprocal Anaphor Otagai with Split Antecedents in Disguise and Multi-Dominant Syntactic Structure	単著	2013年4月	日本英語学会国際春季フォーラム2013				
<b>II-6 (国内学会等発表)</b>							
日本語複合動詞「V+合う」の通時的統語論:「お互い」の格標示をめぐる	単著	2016年9月	東北大学大学院情報科学研究科主催「言語変化・変異研究ユニット」第三回ワークショップ「内省判断では得られない言語変化・変異の事実と言語理論」				
形式名詞補部に生じる属格主語に関する統語論的分析	共著	2015年11月	日本言語学会第151回大会	小菅智也, 小川芳樹			
A Treebank Perspective on Control Relationships in Japanese	共著	2014年12月	Formal Linguistic Circle Conference 2014	Alastair Butler, Tomoya Kosuge			
『V1-て-V2』形式の文法化・機能範疇化と音韻縮約	単著	2014年12月	Formal Linguistic Circle Conference 2014				
CP領域のカートグラフィーに基づく主格・属格交替現象の統語論的分析	単著	2014年11月	日本英語学会第32回大会				
日本語の「V+て+V」形式の通時的発達に関する一考察	単著	2014年9月	東北大学大学院情報科学研究科主催「言語変化・変異研究ユニット」第一回ワークショップ「コーパスからわかる言語変化と言語理論」				
統辞・意味情報を付加した日本語コーパスの構築—構文ツリーバンクプロトタイプについて—	共著	2014年3月	『言語処理学会第20回年次大会発表論文集』pp.904-907.	Alastair Butler, 芥末徹, 檀山祥太, 周振, 小菅智也, 吉本啓			
主格・属格交替現象と「です/ます」表現の相補分布性に関する一考察	単著	2013年5月	Formal Linguistic Circle Conference 2013				
日本語ツリーバンクのアノテーション方針	共著	2013年3月	『言語処理学会第19回年次大会発表論文集』pp.920-923.	吉本啓, 周振, 小菅智也, 大友瑠璃子, Alastair Butler			

日本語の相互表現が表す同延性に関する研究:「AとBがV1+合う」の形式をめぐって	単著	2012年9月	Morphology and Lexicon Forum 2012	
日本語の複合動詞「AがBと(お互いに)V+合う」に関する統語論的考察	単著	2011年12月	日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性研究発表会	
II-7 (解説・総説)				
II-8 (特許)				
II-9 (その他)				
III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)				
III-1 競争的資金の名称				
IV 学会等及び社会における主な活動				
IV-1 所属学会(記載時)				
(平成28年度)日本英語学会、日本語学会				
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)				
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)				
IV-4 その他の該当事項(過去7年)				
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)				
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記				
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記				
(平成28年度)英文法I(1E), 英語II(2E, 2B), 英語LL演習(3M, 3E, 3C, 3B), 総合英語II(5C)				